

令和5年度 定時社員総会のご報告

一般社団法人 群馬県介護支援専門員協会 副会長 松沢 斉

本年度の総会は6月10日（土）13：30から、新前橋の群馬県社会福祉総合センター8階大ホールにおいて行われました。実に4年ぶりの制限なし参集型開催。横断幕や垂れ幕、来賓席や役員席、スクリーンにプロジェクター、ワイヤレスマイクの感度や壇上の花の向き……、何もかも4年ぶりでは会場準備はなかなかのバタバタ感。経験者の記憶に頼ってばかりいてはいけませんね。来年までには会場準備手順書を作っておきたいものです。

会長のあいさつに始まって、来賓のご挨拶は県介護高齢課の窪田課長、県社協の川原会長、当協会の相談役で県医師会理事の長坂先生、そして同じく当協会の相談役で名誉会員、さらには初代会長でもある高玉先生からいただきました。

高田議長のスムーズな進行で令和4年度事業報告・決算、令和5年度事業計画・予算が承認された後、役員改選について選挙管理委員会の田村委員長より、理事19名と監事2名の無投票当選が報告され、議事は終了となりました。

その後総会は暫時休憩となり、新理事・監事による臨時理事会が開かれ、大澤会長の再任が決議され、大澤会長の指名により松沢・中西両副会長も再任となり、休憩明けの総会に報告され、令和5年度の総会は終了となりました。

4年ぶりの参集開催も3名の新理事誕生も大変喜ばしいことではありますが、その後の特別講演の参加者89名に比べて、総会の出席者が理事・監事含めて43名というのはいささか寂しい感が否めません。総会後に疲れがどっと出るくらい初めての司会や議長に緊張して臨んだ理事がいたことをお知らせして、来年はもっと大勢の会員が総会に出席し壇上の理事たちに応援のまなざしを贈っていただくことを期待させていただきます。



一般社団法人 群馬県介護支援専門員協会 役員改選について

(理事以下 あいうえお順)

会 長	大澤 誠 (現)	伊勢崎佐波圏域支部
副会長	松澤 斉 (現)	高崎安中圏域支部
	中西 有美子 (現)	高崎安中圏域支部
理 事	新井 薫 (現)	高崎安中圏域支部
	新井 健五 (現)	富岡甘楽圏域支部
	飯嶋 覚 (現)	高崎安中圏域支部
	石田 知里 (新)	高崎安中圏域支部
	太田 智洋 (現)	館林邑楽圏域支部
	小川 貴之 (新)	桐生みどり圏域支部
	金子 稔 (新)	吾妻圏域支部
	菅野 圭一 (現)	渋川圏域支部
	小沼 説雄 (現)	桐生みどり圏域支部
	坂井 崇 (現)	前橋圏域支部
	島田 光明 (現)	桐生みどり圏域支部
	須田 和也 (現)	高崎安中圏域支部
	関根 京子 (現)	前橋圏域支部
	高田 勢子 (現)	太田圏域支部
	中島 麻衣子 (現)	伊勢崎佐波圏域支部
	松本 勝美 (現)	前橋圏域支部
監 事	三ツ木 真由美 (現)	富岡甘楽圏域支部
	三森 和也 (現)	前橋圏域支部

役員任期は、令和7年度定時総会までとなります。

本会の目的達成に向けて、ご尽力いただけることを期待しております。

一般社団法人 群馬県介護支援専門員協会
選挙管理委員会 委員長 田村 広行

新役員（新理事）紹介



居宅介護支援事業所 なゆた 石田 知里

この度、理事を務めさせて頂く事になりました石田知里と申します。所属は安中市にあります居宅介護支援事業所でケアマネジャーとして勤務しています。

介護支援専門員の基礎資格は歯科衛生士です。歯科衛生士として勤務後、社会福祉士として勤務、そして現在の居宅介護支援事業所に勤務して9年半になります。

勤務当初は自分の思う支援結果にならずに悩んだり、担当してもらって良かったと言われ安堵したりしながらも、感情労働職種でもあるケアマネジャーを現在も楽しく続けていられているのは、良い指導者や同僚等に恵まれた事はもちろんですが、同じケアマネジャーの人達や似た環境の人達が話を聞いてくれて、共感し励まし、凝り固まった私の思考を解し続けてくれた事があると感謝しています。

これからは、会員の皆様が一人で悩んで苦しくなってしまう事が少なくなったり、仕事のしやすい環境になれる様に微力ではありますが努めていきたいと思えます。よろしくお願ひ致します。



長野原町へき地診療所 所長 金子 稔

この度、理事に就任した金子稔と申します。長野原町へき地診療所に2015年に赴任しへき地医療の発展のために日々奮闘中です。診療所では主に自宅で生活する患者さんに関わっています。在宅看取りは2040年を迎えるにあたり非常に重要な課題です。自宅での医療・介護には限界がありますが、「自宅に帰って来て良かった。」とってくれる人たちが一人でも増えてくれることを切に願っています。訪問看護や訪問介護、訪問リハビリなど多職種協働が充実してきています。このように地域包括ケアシステムの深化は、介護支援専門員の皆さんの日々の努力の賜物と思えます。私は「穏やかに、その人らしく、笑顔で生きていける地域」を目指しています。困っている人たちの支えになりましょう。会員の皆さんが元気に笑顔で人生を送れるように役員として精進していきたいと思えます。今後ともよろしくお願ひ致します。



一般社団法人桐生市医師会

居宅介護支援事業所きりゅう / 在宅医療介護連携センターきりゅう 小川 貴之

皆さま、こんにちは。

令和5年度より理事をさせて頂くことになりました、桐生支部の小川貴之と申します。

一般社団法人桐生市医師会に所属し、居宅介護支援事業所きりゅうに勤務しております。平成28年～令和4年まで居宅介護支援の仕事から遠ざかっており、令和5年4月～ケアマネジャーの世界に戻ってまいりました。

群馬県介護支援専門員協会では、総務財政委員会に所属致します。研修やイベントなどで皆さまとお会いすることもあるかと存じます。その際には是非、お声を掛けていただければ幸いです。

当協会を含め、専門職の職能団体は、「自分たちのため」であるとともに、「県民のため」であると考えています。大きな目標としては、介護支援専門員の価値の向上、そして群馬県民の生活に寄与していく事だと思っております。

新型コロナウイルス感染症が拡大した、いわゆるコロナ禍においてはオンラインでの会議や研修を行うスキルを身につけました。2類から5類に新型コロナウイルスは移行しましたが、今後も我々の活動においては不可欠であると考えます。自身が持つスキルなども協会活動の中で役立てていき、社会から期待される協会としての一旦を担えるよう努めてまいります。よろしくお願ひ致します。

『第19回ケアマネジメント群馬フォーラム開催に向けて、始動いたしました。』

富岡甘楽支部支部長の森田みゆきです。この度は、第19回ケアマネジメント群馬フォーラムの担当支部として、ホスト役としての大役を承りました。歴史と伝統のあるフォーラムの開催に際し、大会長をはじめ実行委員や、支部会員の皆様のお力をお借りし、一丸となって力の限り取り組んでいきたい所存であります。

大会長には協会の理事でもあり、医療法人大和会 介護老人保健施設 ミドルホーム富岡 副施設長の新井健五様が就任し、2024年冬頃の開催を目指しております。なお、様々な状況を鑑みまして、今回もオンライン開催を検討しております。内容につきましては、今吟味しておりますので、楽しみにお待ちください。

会員の皆様と一緒に、フォーラムを通じて楽しい時間が過ごせますよう、たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

在宅医療支援センター 森田 みゆき

総会・講演会

言葉にならない生きづらさとどう向き合うのか ～ケアする社会の実現へ向けたケアマネジャーの振るまい方～

大泉町社会福祉協議会 臼田 敦子

近年、日本の高齢化（医療・介護の需要の増加）に伴い、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムが推進されています。今回の講演は赤ひげ功労賞を受賞した中野智紀先生による「埼玉県幸手市の地域ケア拠点 菜のはな」の取り組みを通し、住み慣れた場所で自分らしい暮らしを送るにあたり、必要な住民主体の活動をどのように進めていけるのかを分かりやすく話してくださいました。

事例を通して、「生きる」ということの大変さ、個人の生きづらさに世間は関心をもたない中、どう解決するかに向き合うのかをお話をさせていただきました。そして、その中から、地域的にケアすることは、一緒に悩んだり、考えたり、振り返ったり、向き合ったりすることが大事になるということでした。一緒に悩んだり、考えたり、振り返ったり、向き合ったりすることは、会話をするという、会話をするというは言葉にすることです。言葉にすることで、自分の気持ちに気づき、気持ちの整理ができ、おのずと自己解決に結びつくのではないかと思います。そして、生きづらさを少しは生きやすさに変えられるのではないかと思います。

以前より共同体が減少している中で、ケアマネジャーが地域包括ケアシステムにどのようにかわれるのかを考えた時、地域と向き合い、人と向き合うことが一番大切になるということをお話から学びました。また、個人の力では解決できないことも、人と人が集まれば解決できるということ、人が人を支えているということをお忘れず、これからも業務を遂行していきたいと思っております。



埼玉県幸手市・杉戸町・北葛北部医師会
地域ケア拠点 菜のはな

中野 智紀

(社会医療法人JMA東埼玉総合病院)

地域ケアシステム
幸手・杉戸モデル
を描いたドキュメンタリー動画

YouTube
菜のはなチャンネル

FOLLOW US . . .

LINE Facebook Instagram Twitter YouTube

支部情報

前橋支部

前橋支部では3月27日に「ケアマネジャー情報交換会」を開催しました。コロナ禍になってZoomなどの研修会がほとんどでしたが、今回は感染対策を十分に図りながら久しぶりに対面で行い、24名の方が参加されてケアマネジャー同士の情報共有、交流を図ることができました。

テーマは前橋市の運営指導を終えた居宅介護支援事業所から話題提供をしていただき、運営指導で確認されたポイントや加算の算定要件についての解釈などの意見交換を行いました。日々「これで良いのかな?」と思い、悩みながら仕事をしているなか、他の事業所のケアマネジャーからの話を聞くことで、同じ理解で安心感を得ることができました。また各事業所が使用されている書式など工夫されている話を聞くことで、これからの業務の参考にすることができました。

オンライン研修会は遠くの研修でも気軽に参加できるメリットはありますが、近くの間と情報交換をするのには、やはり対面で顔を合わせるのが一番良いと思いました。今年度は対面での研修会を企画していきたいと思います。

(ケアプランセンター老研 野中 和英)

伊勢崎支部

令和5年5月8日よりコロナウィルスは5類感染症になりました。コロナ禍以降、伊勢崎佐波ケアマネの会の総会はZoomでの非対面での開催をしてきましたが、今年からは再び対面での総会にすることができました。会場の確保や現地まで行くという手間ではありますが、対面で久しぶりに会う方も多く顔を合わせての集まりの良さを再確認しました。

総会の後にはグループワークを行いケアマネの会に期待する事や現在困っている事等を話し合ってもらいました。そこ出た意見として、コロナ特例が4月で終わってしまう関係で保険証がなかなか届かないという事や、インフォーマル情報を各地域包括支援センターが持っていてそれをまとめた物や契約外の事業所には情報が伝わりづらいといった事等がありました。

今後はケアマネの会として定期的に行行政との対話を行い、顔の見える関係を築き利用者の生活が豊かになるような取り組みに繋がるように出来ればと考えております。

(ケアプランかしま 木暮 俊輔)

富岡甘楽支部

5月27日(土) 13:30から令和5年度支部総会、終了後に第1回研修会がZoomにて開催されました。

研修会では、「生活困窮者自立支援制度について～制度の狭間にいる人たちの支援を通して～」をテーマに、社会福祉法人富岡市社会福祉協議会生活支援係長萩原敦子さんに講演をしていただきました。

萩原さんは富岡・甘楽支部の会員であり、前支部長をされていました。現在は介護支援専門員の業務ではありませんが、生活困窮者を対象にとっても大変な仕事をされているなど感じました。

生活困窮者は様々な問題を複合的に抱えている方も多く、支援には様々な機関との連携が必要だと事例を通してわかりやすく学ぶことができました。私たち介護支援専門員からの情報提供がとても大切と学んだので、日々の業務の中で生活困窮者の情報を得たら、自立支援相談機関に繋げていきたいと思います。

生活困窮者は社会的孤立状態に陥っている場合もあるので、日頃から地域での顔の見える関係作り、連携を大切にしていきたいと思います。

(南牧村地域包括支援センター 村田 利行)



第17回 日本介護支援専門員協会2020+3 全国大会 in とちぎ

居宅介護支援事業所 太陽くん 飯島 覚

「第17回 日本介護支援専門員協会2020+3 全国大会 in とちぎ」が2023年10月21(土) 22(日)に開催となります。

今回の大会は北関東3県合同での大会であり、今まで遠方でなかなか参加できなかった方には絶好のチャンスですよ。近年外出を自粛することがあたり前となり各種イベントや対面での研修を開催することが難しくなりましたが、



少しづつ社会情勢も変化しつつある中で人と人が交流する大切さをもう一度感じてみてはいかがでしょうか？オンライン参加では決して味わえない雰囲気や感覚、会議室では分からないリアルは現場でおきています。大会1日目の終了後には企画盛り沢山(余興・お楽しみ企画・出会いなどなど)の懇親会もやっちゃいます。お酒を飲みながら全国のケアマネと語り交流できるまたとないチャンスを見逃すなんてもったいない、勇気を出してアクセスしてみてください、Let's try 幸せの扉に手をかけたらその先は...priceless(お金で買えない価値がそこにはある)皆様の参加を心よりお待ちしております、現地で会いましょう。

ウエルカム研修を終えて

匿名希望

私は、薬剤師として働いてから約17年でケアマネジャーになりました。最近、介護の事を考えることが多くなり、ケアマネジャーという仕事に興味が出てきました。

ウエルカム研修で学んだことは2点です。

ひとつは、ケアとキュアの違い。今まで私が携わってきた環境はキュア側でありケアではないので、それほど深く患者さんのこと、生活や生き様とかに触れてくることはありませんでした。でもこれからは、ケアマネジャーの仕事を通して一人ひとりの生き方・考え方なども考慮していかなくてはならないので、結果として自分の幅が広がるのではないかとワクワクしています。

もうひとつは、チームでコミュニケーション取るのが大事ということ。今は不安だらけだし、すべてうまくいくってことは無いと思います。そこで、一人で抱え込んでいたら解消・解決しなかつたりするけれども、同じチームのみんなと話し・聞いてもらうことで解消・解決できるっていうことを学びました。ぜひそうやって、成長していきたいなと思っています。

そのために、協会にも入会しました。いろいろ相談事が出てくるとはと思いますが、諸先輩方からご指導いただければと思います。よろしく願います。

理事会・委員会報告

(2023年4月から6月の活動報告)

理事会

会長 大澤 誠

当協会の財務状況は、会員数の減少に伴い、年々厳しいものとなっています。(拡大)総務財政委員会を開いて、会員数の増加策や法定外研修の開催増等について検討中です。

群馬県の令和5年度ケアプラン点検支援アドバイザー派遣事業や各種委員会(群馬県保健医療計画会議在宅医療推進部会等)の委員に関しても協議・決定しました。

また、6月10日の総会を控え、その役割分担についても検討(総会後の記念講演演者である中野智紀先生との打ち合わせも、6月1日、須田・中島理事、事務局新井さん、大澤も加わってオンラインで行いました)。当日は、久しぶりに、講師を囲んでオフ会を予定しています。

今後も、理事会は原則としてオンラインで行う予定ですが、時折対面での開催も交えることになると思われます。

学術研修委員会

学術研修委員長 菅野 圭一

いまだに、学術研修委員会を開催できていませんが、その代わりに今年度は理事が一丸となって、年間計画で研修会を毎月開催する方向で動くことになりました。コロナ禍の影響で研修会を満足に開けなかったという反省から、会員サービスとして研修会を充実させていこうと考えたわけです。それをきっかけに会員数を増やして全体的な活動を活性化していくことを目指そうと思います。

具体的には、例年行っているケアマネフォーラムとケアプランチェックアドバイザー事業は当然行いますが、それ以外に毎月主任ケアマネの法定外研修に相当するような研修とそれ以外の研修を行う予定です。つまりそれぞれを6回(あるいはそれ以上)ずつ行っていこうと考えています。後日予定表(仮の案は先日の総会で紹介させていただきました)を発表しますので、楽しみにお待ちください。

総務財政委員会

総務財政委員長 坂井 崇

令和5年度の協会活動につきまして、久しく対面での研修等が実施できない状況が続いて参りましたが、職能団体が実施する主任介護支援専門員の更新要件を満たす法定外研修の実施、会員の為の対面、オンラインでの研修や相互交流機会をお持ちいただける機会の提供等、年間計画を策定させていただき総会にて承認いただくことができました。協会運営はひとえに会員の皆様の会費によって成り立っております。協会に加入し続けるメリットを少しでも実感いただけるよう引き続き努めて参ります。協会の安定運営のため、年会費納入をお忘れの方は手続きをお願いいたします。又皆様の周りの方々への新規入会のお声がけ、ご協力をお願い申し上げます。

広報情報委員会

広報情報委員長 松本 勝美

ケアマネ群馬130号は総会・研修会・役員選挙(新役員)などの記事を掲載し発行することができました。コロナも5類になり対面式の研修会も増えていくことと思います。その内容や雰囲気会員の皆様にお届けできるようケアマネ群馬やホームページにて情報を発信していきます。また、ホームページへの掲載も進んでおりますので是非とも定期的に確認して頂きますようお願いいたします。協会や各支部の研修会等も増加されると思いますので、参加した方々には原稿をご依頼させていただきます。ぜひともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

コラム

1本の歯が全身に与える影響

昨年末に急に右下奥歯が痛み出して現在も治療をしています。治療している1本が噛めないのが反対側で噛もうと思うのですが思う様に噛めません。それもすっかり噛まずに飲み込んでしまうので食べる内容も少しずつ変わってきました。

噛む力はおおよそ体重と同じ位とされています。奥歯1本無くなると噛む力は30%～40%も低下してしまうのだそうです。たった1本だけです。

噛み合わせが悪くなると、咀嚼筋などの筋肉への力のかかり方のバランスが悪くなり頭部が傾き、頭部が傾くと無意識に体全体でバランスを取ろうとする事で全身の筋力のバランスが崩れ、骨格にも影響を及ぼすのだそうです。原因のはっきりしない肩こりや腰痛、めまい、不眠、不定愁訴などが、噛み合わせからきている事もある様です。

虫歯や歯周病は短期間に進行する疾患ではありません。定期的な検診や失ってしまった歯もそのままにせず代替えとなる歯を入れて、オーラルフレイルを防いでいきましょう。

(基礎資格：歯科衛生士1)

事務局からのお知らせ

昨年度に引き続き、4月5月で行いました新規入会キャンペーンでは、70名近くの方の入会がありました。

心より、感謝申し上げます。

群馬県介護支援専門員協会では、引き続き6月1日～9月30日迄持続キャンペーンを行っております。日本協会と同時入会いただけた方について、群馬県の入会金のみ¥2,000を免除させていただきます。

これを機会に、お声かけいただけたらと思います。

お問い合わせについては、事務局までお願いいたします。

一般社団法人群馬県介護支援専門員協会（群馬県社会福祉協議会 地域福祉課内）

TEL 027-255-6226 FAX 027-255-6173

事務局：新井



編集
後記

最近 ChatGPT が賢くなってきたので「介護支援専門員の事を 100 文字以内で答えて」と聞いてみました。「介護支援専門員は、高齢者や障害者に対し、適切なサービスや支援を提供する専門職。個別のニーズを評価し、ケアプランを作成・調整し、生活の質を向上させる役割を担う。」という答えが返ってきました。最初の頃は平気で嘘八百並べていたのに凄い成長です。人間が抜かされる日も近いようです。

(S・K)